

十勝産食品「おいしい」

在日外国人記者 サミット控え視察



来年七月の北海道新幹線に発信しようと、在日外国人記者サミットを控え、北海道記者による視察団が十勝の魅力を体感して世界二十日、十勝入りし、農産物や地産食品への理解を深めた。

視察は北海道新幹線サミット道民会議(会長・高橋はるみ知事)の主催。中国やドイツのメディアなど五カ国の十人が参加した。初日の同日、一行は釧路湿原などを取材した後、稚広市内の十勝産農産物センターを訪問。岡本光昭支庁長が「十勝は国内有数の農業地域です」と説明した。

また、参加者はナチュラルチーズや蒸製豆腐などを試食。ホエー豚肉を味わったデボとスベイン通商社のフェルナンド・アルバレススカさんは「とてもおいしい。明日も楽しみ」と笑顔を見せた。

十勝の地産食品を試食する在日外国人記者

一行は二十一日、市内で農産カーリング場やナガイモ産地を視察した後、日高管内に向かった。(奥頭良幸)